

質疑応答(要旨)

Q1	原油高・資源高の影響はありますか？
A1	あります。原油高・資源高になると、原料となる化学品や燃料の価格が上がるため、コストアップ要因になります。最終製品である貴金属の価格も上昇するため、メリット・デメリット両方がございますが、全体的にはプラス要因と考えております。
Q2	円安でのメリット・デメリットはありますか？
A2	あります。 当社が取り扱う貴金属や、原料となる一部薬品の価格はドル建が基本となります。 当社は日本国内において円建で取引を行っておりますので、円安はそれらの価格を押し上げる要因となります。 メリット・デメリット両方がございますが、全体としては円安はプラス要因と考えております。
Q3	LiB再生事業において、他企業とのアライアンスに関する進捗を教えてください。
A3	東邦亜鉛株式会社との前処理での共同研究開発契約はすでに発表させていただいております。 LiBリサイクルの実現にはリサイクルメーカー、電池メーカー、自動車メーカーが一体となって取り組まなければなりません。提携先の具体的な回答は控えさせていただきますが、当社はリサイクル分野だけの提携や共同研究ではなく、スキーム全体での提携交渉に取り組んでいます。
Q4	ロシアによるウクライナ侵攻の影響を教えてください。
A4	ロシアは世界最大のニッケル、パラジウムの産出国であります。 ウクライナ侵攻によりこれらの資源価格の高騰、世界的な供給懸念等の影響が生じています。 資源価格の高騰による当社への影響については、Q1で回答した通りです。
Q5	先日国営放送にて貴社が紹介されているのを拝見しました。そうした取材件数も増えているのでしょうか？
A5	ご認識の通り、取材件数は増えております。 当社が取り組んできた事業、ふくしま産業賞<知事賞>や第2回こおりやまSDGsアワードといった官公庁からの表彰が評価されていると考えております。 引き続き、こういった取材に来ていただける会社であることを一つの目標に頑張っていきたいと考えております。

(ご留意事項)

この資料は、当社説明会にご参加できなかった方のためのご参考として掲載しているものであり、説明会でお話した内容をそのまま文章に起こしたものではありませんことをご了承ください。